



【写真左上】法律概論-憲法から刑法・民法・訴訟法まで- 【写真右上】小児科病棟ってどんなところ？
【写真左下】VR・AIを活用した未来医療を体験！ 【写真右下】『文房四宝』を楽しもう

過去に学び、今を理解し、未来を見通す力をつける

GSPではVUCA時代（未来予測が困難な状況）に対応できる人間の育成を目指して様々な講座を展開していますが、今回も医療や法学、環境・災害について学べる講座や将来の職業について理解を深める講座が開講されました。この世の中、変化していくものは多いですが、変わらないものもあります。その変わらないものも大切にしながら、星稜は今後も石川県で一番の教育機関として社会に役立つ人間を育てて参ります。

【GSPを受講した生徒の感想】

◇法学部に行きたいという気持ちがより一層強くなりました。現在話題となっている訴訟をもとに現代社会の問題点や、法律と法律がぶつかり合った時にどのような考え方で考えればいいのかを教えていただきました。正解のない問題に対し、時代の流れに伴い、法の解釈や法律の改訂などを常に行っていく必要があるんだと感じました。[法律概論-憲法から刑法・民法・訴訟法まで-]

◇人の思いやりに触れてすごく嬉しい気持ちになりました。寒い中で活動していたので、募金してくれた人に「寒い中頑張っね」とか、「応援してるよ」とか言ってもらえて元気をもらい、もっと頑張ろうと思うことができました。今度どこかで募金活動をしていたら、私も募金に協力しようと思いました。

【海外たすけあい募金活動】

◇班に分かれてボードゲームをした。各マスに行政書士の仕事やどんな場面で助けになってくれるのかが書いてあり、行政書士が思っていたよりも身近な存在であることがわかった。会社を設立するには大抵の場合許可が必要であること、農地を転用する際も許可を取らなければならないことが理解できた。行政書士は婚姻や離婚の際の書類、遺言書などまで見てくれるそうなのでいつか困ったときは相談したい。[ボードゲームから学ぶ、生活に必要な手続きと知恵]

【今月の注目講座】

海外たすけあい募金活動

日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンに、本校からも有志を募って参加しました。「ウクライナ人道危機」や「イスラエル・ガザ人道危機」など、日本にまでその深刻さが伝わってくる国際問題に対して何とか力になりたいと考える生徒たちは、寒空のもとでしたが金沢フォーラス前に声を響かせながら、熱心に募金活動を展開していました。

今回集まった募金 26,072 円は日本赤十字社石川県支部にお預けし、紛争や貧困で苦しい状況に置かれている人たちの生活支援や医療活動に役立てられることとなります。募金活動に参加してくれた生徒、募金してくれた人たちに、この場を借りて感謝申し上げます。



**GSP
JOURNAL**

2024 年度 第 8 号

2024 年 12 月 14 日

